

6月25日(火)

重荷を軽くする

聖書朗読 詩篇 120

私は平和を・・・、私が話すと、彼らは戦いを望むのだ。

詩篇 120 : 7

私たちの世界は壊れていて、修復できないように思えます。自分にできることはなにもないと思って、静かな絶望感に陥ったことはありませんか。

でも、あなたはひとりではありません。詩篇の作者は、平和を憎む嘘つきたちに満ちた地で生きることの苦しみを激しく訴えました。それにもかかわらず、この詩篇の作者は、自分の苦しみに神様が答えてくださったことから書き始めています。彼は苦しみの中で主に呼びかけ、主が応えてくださったことがわかりました。

神様に不平を並べるのは不適切だと言う人がいるかもしれません。しかし、詩篇の最も一般的な形式は嘆き、つまり苦しみと悲しみの表現です。今の世の中は、本来あるべき姿ではありません。主と主の慰めと愛を求める前に、私たちは、まず、この壊れた世の中を神様に差し出す必要があります。そして、神様の慰めと癒しを求めるのです。神様どうしたらよいのですかと。つまり、私たちはこの世を変えることはできませんが、それがおできになるお方をお呼び求めることはできるということです。「苦しみのうちに、私が主を呼ばわると、主は私に答えられた。」

神様に大きなことも小さなことも、すべてをお委ねしましょう
あなたを悩ますものはなんでも、さあ、みんなお委ねしましょう。
頭から離れない恐怖、漠然とした不安。
主はあなたの心を和らげてくださり、重荷を軽くしてくださいます。

T. O. Chisholm

讚美歌 298

祈り 親愛なるお父様。争いに満ちたこの世の中にあって、平和の民になる強さを与えてください。みこころに反して生きる人々の中にあって、自分の生き方が、彼らにあなたを示すものになりますように。
イエス様のお名前を通してお祈りします。アーメン。

アール D. ラベンダー
テネシー州、ブレントウッド

6月26日(水)

悲しみが喜びに

聖書朗読 詩篇 126

自分たちの敵を除いて休みを得た日、悲しみが喜びに、喪の日が祝日になった月として、祝宴と喜びの日、互いにごちそうを贈り、貧しい者に贈り物をする日と定めるためであった。
エステル記 9 : 22

聖書には、喜びにつながる多くの悲しみと苦しみの物語が書かれています。ヨブは激しい痛みと、家族と財産を失う目に遭いました。しかし痛みから解放され、繁栄が悲しみのあとに続きました。悲しみと苦しみが喜びに変わったのです。

ハンナは子どもを望んでいましたが、不妊であることに心を痛ませていました。しかし、神様が彼女の祈りに答えてくださり、特別な男の子、サムエルを出産したとき、彼女は喜びに包まれました。

農作物を栽培している農家は、雑草、害虫、その他農作物の成長を妨げるさまざまなものに苦しみます。しかし、豊かな収穫を得たときに喜びがやってきます。神の民は、苦しみが喜びに変わるまで、ときには何年も苦しみを受けることがあります。主が捕囚をシオンに連れ戻されたとき、帰還したイスラエル人にとっては夢のようでした。彼らは笑い、喜びの歌を歌いました。

エステルが自分の民族を救うべく、勇気ある行動に出ました。そして、ユダヤ人の敵が除かれた日を、喜びと自由を祝う特別な日としました。イエス様は、ご自身が十字架でお亡くなりになったあと、弟子たちはイエス様の死を悲しむけれども、それは喜びに変わり、弟子たちはイエス様と再び会うことを話されました。

この地上で生きている間、私たちの多くは悲しみのときを経験します。しかし、目で見ることにはできませんが、私たちにはイエス様の慰めとともに生き、イエス様にまもなくお会できる期待があります。涙も悲しみもありません。永遠の喜びがあるだけです。

讚美歌 112

祈り 親愛なる神様。悲しみのときに、御国であなたとともにいることを待ち望むことができる喜びを思い起こさせてください。
イエス様のお名前において。アーメン。

スー・ラサム
(編集者)

6月27日(木)

私の罪の記録

聖書朗読 詩篇 130

主よ。あなたがもし、不義に目を留められるなら、主よ、だれが御前に立ちえましよう。
詩篇 130:3

神様の清らかさと神聖さとは対照的に、犯しつつある罪や罪の記録……邪悪な考え、悪い言葉、間違った行ない、イヤな行動などを見ることは、とても恐ろしいことです。ひどい罪悪感を感じた罪もあれば、大した罪じゃないと思ったり、みんなもめちゃくちゃなことをしたからと言いついした罪、正当化した罪、罪だと気づいていない罪もあります。それでも、私の罪はすべて聖なる神様に対して失礼なことです。

詩篇の作者が認めたように、このような罪のリストを目の前にしたら、だれが御前に立つことができるでしょうか？ 私にはとても無理です。ベヤード テイラーは「怒りではなく赦しが、神の最良の特性である」と言いました。

神様の揺るぎない愛と赦しにふさわしく、私たちは主にどのようにお応えしたらいいでしょう。いと高き神への畏敬の念は、神様との関係を深く望む思いを導きます。イエス様が十字架の上でくださったことのおかげで、私の口座に贖いの代価が全額支払われたことを覚え、神様を讃美します。私の罪の記録は、台帳から取り除かれました。今、私は、自分の人生の次の世界をイエス様が見せてくださることを期待して待っています。その世界とはイエス様が贖われ、ご自身に倣うものに変えたいと思われているものです。

讃美歌 II161

祈り 造り主よ。私は、あなたと私との間の大きな違いを認識しています。あなたの赦しと、私に対する愛のある優しさを感謝します。あなたにすべてをお委ねして生きることを約束します。

イエス様を通して。アーメン。

バーギー・ニーマン
コロラド州、ニューキャッスル

6月28日(金)

自己評価

聖書朗読 詩篇 131:1~3

主よ。私の心は誇らず、私の目は高ぶりません。

詩篇 131:1

ダビデのように才能で満ち溢れて、力強く、成功をつかんだ人が、高ぶり、他人よりも優れていると思ってしまう力を振りかざすということはよく聞く話です。ニュースでもそのようなことをよく報道しています。

しかし、王になったダビデは自分の自尊心を良くコントロールしていました。私たちはトップを目指している時の姿と、いざトップに立ったと時の姿の差を知っています。神様はダビデにゴリアテを倒し、王になってイスラエルを導けと命じられました。しかし、ダビデは王になるために選挙活動をしたり、誰かに頼み込んだりしたことなどありませんでした。

現代のあるリーダーたちとダビデはどのように違うでしょう。ダビデは野望もなく、また彼の考えを王になるために押し出すことはありませんでした。自らの優れた才能をやたらに出しゃばりながら、アピールすることはありませんでした。ダビデは私たちに神様の子たる生き方を教えてくれます。もうこれ以上悩みたくない、すべてを委ねたい、と考えたときにあなたは何よりも素晴らしいもの、神様に出あうことが出来るのです。

あなたが苛立ち、悩み、自分勝手から逃れたいと思ったとき

あなたは神に真に仕えることが出来るのです。

チャールズ・スボルジョン

讃美歌 529

祈り 神様、私たちの愚かさをお許してください。私たちが自分にとらわれずにあなたにお仕えすることを喜びとさせてください。
イエス様のお名前によって。アーメン。

ウィリアム・E・マクドナ
プノンペン カンボジア

6月29日(土)

神様だけが私たちを造れる

聖書朗読 詩編 139 : 13~18

知れ。主こそ神。主が、私たちを造られた。私たちは主のもの、主の民、その牧場の羊である。

詩篇 100 : 3

何年か前、リンカーン大統領の等身大ロボットを作ろうとしている方とあったことがあります。見た目が似ているだけでなく、立ち上がったり、スピーチをしたりすることが出来るロボットです。デザイナーだった彼はそのロボットの図面を、まさに人類の英知と技術の粋を私たちに見せてくれました。

そのデザイナーは素晴らしいロボットを作り上げました。しかし神様はそんなデザイナーを作り上げたのです。ダビデは自らを、「あなたは私に、奇しいことをなさって恐ろしいほどです」と言っています。ダビデは才能を生かして正確に石を投げ、与えられた技術を磨いてハープを奏で、そして神様と向き合ったのです。ダビデが人の体を造り上げた神様の素晴らしさを三千年前に讃えたときよりも、私たちは確信をもって神様を讃えることができます。神様は難解なDNAという仕組みを一つ一つの細胞について備えられたのです。神様以外に誰がこんな複雑なことが出来るでしょう。

私たちが超音波で見ることが出来る胎内の様子を、ダビデは想像でその素晴らしさを語っています。「それはあなたが私の内臓を造り、母の胎のうちで私を組み立てられたからです。私は感謝します。あなたは私に、奇しいことをなさって恐ろしいほどです。私のたましいはそれをよく知っています」(詩篇139 : 13~14)。

讃美歌 90

祈り 神様。私たちはあなたが造ってくださったすばらしい身体と心を使い、また定め与えて下さった日々、あなたのみこころを行い、周りの方々にあなたのためぐみをお分けすることができますように。

イエス様の御名によって。アーメン。

デイビット・ギブソン
テキサス州 コマース

6月30日(日)

賛美がわきあがる

聖書朗読 詩篇 149 : 1~9

息のあるものはみな、主をほめたたえよ。ハレルヤ。 詩篇 150 : 6

私が祖母から学んだことの一つに神様を賛美することの素晴らしさがあります。子供の頃、毎年のように夏休みの間、祖母宅を訪れ、祖母の讃美歌集と一緒に歌っていました。早朝や深夜、扉の後ろで祈りと賛美の時を持っている祖母の声を聴きました。

祖母が亡くなる少し前、私は心の底から神様のことを賛美したいという思いが生まれてきたということを彼女に話したことを覚えています。それを話した時、祖母も自分が知らなかった讃美歌を歌いたいという思いに駆られた経験をしたということに分ち合ってくれました。

「御霊に満たされなさい。詩と賛美と霊の歌とをもって、互いに語り、主に向かって、心から歌い、また賛美しなさい。」(エペソ5 : 18~19) という力強い聖句があります。賛美をするのに資格などいらないのです。賛美はなんて素晴らしいものなのでしょうか。

讃美歌 321

祈り 神様、私たちにあなたの永遠の愛に包まれたいたいという思いを抱かせて下さったことに感謝致します。あなたへ賛美があなたの栄光を表わし、あなたを祝福するものとなりますことを祈ります。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ブルーデンス・C・ウィリアムス
フロリダ州 ジャクソンビル